

学校プールの開放に係る状況整理

1 学校プールの開放は、他自治体の事例などを踏まえると、府中市においても実施は可能と考えられる。ただし、開放校数や開放に当たっての施設整備のあり方、運営方法、費用対効果など、整理すべき諸条件が多く存在することから、現段階では実施できる状況に至っていない。

2 学校プールと地域プールの両方を、これまでどおり全て維持していくことは、非常に多くの費用（維持管理や運営費用など）が必要になることから、これまでの施設のあり方からの見直しはそれぞれで必要と考えられる。なお、施設ごとに検討を行うのではなく、施設全体の最適化という視点を持ち、連携して進めていくことが重要である。

また、見直しの検討の際には、既存のサービス量（施設数や運営時間など）を前提とした議論を行うのではなく、現在の状況に合わせた新たな基準の設定と、全体を見通した戦略的な見直しが必要である。

【見直し概要（案）】

学校プール：教育的視点や財政的視点を持って、まずは学校プールの数や学校プールを開放するための施設造りを検討。

地域プール：設置時とは大きく異なる利用者数を踏まえ、費用対効果の検証を行い、現状に即した施設数や運営方法、運営期間の検討。

